

# 写真で見る 国際協力

1999 ▶ 2002年



留学生受入事業を開始〈無償資金協力〉 2000年1月 来日したウズベキスタンの留学生たち



ザンビアでHIV抽出テストを指導する専門家（エイズおよび結核対策プロジェクト）〈技術協力〉 2001年3月



日本ーパラオ友好橋完成（新コロール・バベルダオブ橋建設計画）〈無償資金協力〉 2002年1月



「日本人材開発センター」（通称「日本センター」）事業開始〈技術協力〉 2000年9月 ラオス日本センターでの日本語授業の様子



ジンバブエで小規模金融機関のキャパシティ・ビルディングを行う専門家〈技術協力〉 2001年5月



インド「デリーメトロ」開通（デリー高速輸送システム建設事業）  
〈有償資金協力〉 2002年12月



草の根技術協力事業を開始 2002年9月 東ティモールでのコーヒー生産支援



タイ・ラマ5世橋開通（ワットナコンイン橋及び付帯道路建設事業）〈有償資金協力〉 2002年6月

## 2003 ▶ 2005年

### 2003年10月 1日 独立行政法人国際協力機構設立



独立行政法人国際協力機構設立 2003年10月

#### JICAの新しいシンボルデザイン 「人」「地球」がテーマです。

##### ●人間的なやさしさ

——「j」と「i」は、人と人が寄り添う姿。お互いの価値観、文化を尊重しながら、自立と発展を支えています。

##### ●ダイナミックな躍動感

——「i」の上部の●は「地球=世界」。世界を舞台に活躍するJICAの躍動感、成長を表現しています。

##### ●「青い地球」をイメージ

——地球上のすべての人々が、国際社会が抱える問題を解決していくという国際協力の理念を表しています。



パキスタン・コハットトンネル開通式（コハットトンネル建設事業）〈有償資金協力〉 2003年6月



カンボジアの看護・助産学校看護師コースでの授業（カンボジア医療技術者育成プロジェクト）〈技術協力〉 2003年9月



ルーマニア・コンスタンツァ南港整備事業竣工  
〈有償資金協力〉 2003年11月



スマトラ沖大地震・インド洋津波の被害を受けたインドネシアで救援活動を行う国際緊急援助隊隊員 2004年12月



「青年招へい20周年記念式典」を開催 2004年2月



ウクライナ向け初の円借款貸付契約を締結（ボリスポリ空港拡張事業）  
2005年3月 完成後のボリスポリ空港ターミナルビル出発ロビー



バングラデシュの農村住民の話聞く農村開発の専門家（行政と住民のエンパワメントを通じた参加型農村開発プロジェクトフェーズ2）〈技術協力〉 2005年6月

# 2006 ▶ 2008年



JICA広尾「地球ひろば」オープン 2006年4月



ODA事業として世界初のクリーン開発メカニズム事業に認定されたエジプト・ザファラーナ風力発電所 2007年6月



ナミビア向け初の円借款貸付契約を締結（ルンドゥーエルドゥ間道路改善事業）2006年8月 アスファルト舗装が施された新しい道路の開通式



アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ（EPSA）第一号案件（バマコーダカール間南回廊道路改良・交通促進事業）の円借款貸付契約を締結 2006年3月 完成後の道路



モルディブ向け初の円借款貸付契約を締結（モルディブ津波復興事業）2006年7月 整備されたフナドゥウ港



中国西部大地震による被災者の捜索・救助活動を行う国際緊急援助隊隊員 2008年5月



食糧増産を支援する「アフリカ稲作振興のための共同体」(CARD) 発足 (技術協力) 2008年5月 ウガンダで稲作技術を指導する専門家



「地球規模課題対応国際科学技術協力」(SATREPS) 創設 2008年4月 泥炭地に向くとされるフタバガキ科の植物を試験栽培しているインドネシアの植物栽培園 (泥炭・森林における火災と炭素管理プロジェクト)



イラク向け復興支援のための初の円借款貸付契約を締結 (港湾セクター復興事業) 2008年1月 この協力で完成したウナム・カスル港の様子

2008 ▶ 2010年

2008年10月 1日 新JICA発足



### 新JICAのシンボルデザイン

- 「円弧」のモチーフを追加し、組織の活発な動きとともに、「循環型社会」「持続可能な開発と発展」「日本の国際協力、国際貢献が日本社会への貢献にもつながること」などを表現しました。
- 「i」に架かる円を赤色とし、「地球=世界」にあわせて「日本」をイメージできるように表現しました。
- 円弧のグラデーションにより、技術協力・有償資金協力・無償資金協力の3スキームを融合させながら、総合的・戦略的に展開・発展する「All Japan」の援助機関であることを示しています。



エジプトで「日本型」工学系高等教育支援がスタート（エジプト日本科学技術大学〈E-JUST〉プロジェクト）（技術協力）  
2008年10月



円借款により完成したインドネシアのラヘンドン地熱発電所（ラヘンドン地熱発電所拡張事業） 2009年2月



ガーナのHIV/エイズ教育促進のために官民連携の共同プロジェクトを実施  
2009年6月

「協力準備調査（BOPビジネス連携促進）」を開始、20件の採択を決定  
2010年12月 西アフリカにおける浄水装置を用いた村落給水事業実証調査に集まってきたセネガルの人々



日本の技術協力によりベトナム・ワクチン公社で製造された麻疹ワクチンを同国政府が承認（麻疹ワクチン製造基盤技術移転プロジェクト、麻疹ワクチン製造施設建設計画）〈技術協力、無償資金協力〉 2009年5月



# 2011 ▶ 2012年



東日本大震災における被災者支援のボランティア活動（宮城県東松島市） 2011年3月



震災の経験を生かすために復興防災関連の研修コース・セミナーを実施 2011年10月



南部スーダンで独立前後を通じ継続的な支援を実施 2011年7月（ジュバ近郊の平和の定着に向けた生計向上支援プロジェクト）〈技術協力〉



ラオスの首都ビエンチャンに供与されたバス（首都ビエンチャン市公共バス交通改善計画）〈無償資金協力〉 2011年3月



無償資金協力により建設されたツバルの公立高等教育学校の教室棟（モトフォウア高等教育施設整備計画） 2011年8月



世界におけるポリオ撲滅を目的に、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団とJICAが業務協力協定を締結、連携第一弾としてパキスタンのポリオ撲滅支援のための円借款に初めて民間資金を活用 アメリカと日本をつないだTV会議により同時署名を行うビル・ゲイツ共同議長（左）と緒方元理事長 2011年8月



医療機器メーカーと初の官民連携研修を実施、メキシコの病院から5名の医師が来日 2011年9月



コスタリカの持続的な経済成長を支えるピリス水力発電所が完工（ピリス水力発電所建設事業）〈有償資金協力〉 2011年9月



カイゼンを取り入れているメキシコの自動車部品製造工場（自動車産業基盤強化プロジェクト）〈技術協力〉 2012年10月



キルギスでジャム作りを指導する専門家（一村一品アプローチによる小規模ビジネス振興を通じたイシククリ州コミュニティ活性化プロジェクト）〈技術協力〉 2012年1月

# 2013 ▶ 2014年



JICA地球ひろば来館者が100万人を突破 2013年10月



ブラジルの土砂災害現場で斜面崩壊の現象を調査分析する専門家とカウンターパート（統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト）〈技術協力〉 2013年7月



トルコ・ボスボラス海峡横断地下鉄開通（ボスボラス海峡横断地下鉄整備事業）〈有償資金協力〉 2013年10月



横浜で開催された第5回アフリカ開発会議（TICAD V）でサイドイベントを実施 2013年6月



「森から世界を変えるREDD+プラットフォーム」を創設〈技術協力〉 2014年11月 モザンビークで調査機材の使用方法を説明する専門家（REDD+モニタリングのための持続可能な森林資源情報プラットフォーム整備プロジェクト）



アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ）研修員が初来日（技術協力） 2014年9月



ベトナム・ノイバイ国際空港第二旅客ターミナルビルが運用開始（ノイバイ国際空港第二旅客ターミナルビル建設事業）〈有償資金協力〉 2014年12月



ナイジェリアの技術者に道路構造物の点検技術を紹介する日本企業の専門家（コンクリートテスター〈CTS〉を用いた道路付帯コンクリート構造物の点検技術の普及・実証事業）〈中小企業海外展開支援〉 2014年3月



2014年はODA60周年。コロンボ・プラン加盟の翌年1955年に開始された研修事業は、技術協力の主要なスキームとして継続発展し、開発課題の解決を担う途上国の人材育成に貢献している。写真は、地域住民と交流し、日本の地域づくりの取り組みを学ぶ研修員たち 2014年8月



Build Back Better（より良い復興）を旗印に、地方自治体と実施したフィリピンの復興計画策定ワークショップにて、調査団が作成したハザードマップを使って説明する専門家（台風ヨランダ災害緊急復旧復興支援プロジェクト）〈技術協力〉 2014年7月

# 2015 ▶ 2016年



青年海外協力隊発足50周年記念式典を開催 2015年11月



スポーツを通じた国際協力で「Sports for Tomorrow」に貢献（JICA・JFA・Jリーグが連携協定を締結） 2015年9月



ミャンマーにおける官民連携「ティラワ経済特別区」Zone A 区域開業（ティラワ経済特別区開発事業） 2015年9月



カンボジア「つばさ橋」が開通（ネアックルン橋梁建設計画）（無償資金協力） 2015年4月



ネパール地震発生後、救助犬とともに捜索を行う国際緊急援助隊救助チーム隊員 2015年4月



ケニア・ナイロビで開催された第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）でサイドイベント「ハイレベルパネル」を実施 2016年8月



テロ対策に重点を置く新たな安全対策研修・訓練を開始 2016年10月



青年海外協力隊が「ラモン・マグサイサイ賞」を受賞 2016年8月

# 2017 ▶ 2018年



JICAボランティアの派遣人数が5万人を突破 2017年1月



トルコで実施しているアフガニスタンの女性警察官の育成に向けた研修と連携し「女性に対する暴力への対応能力の向上」のためのワークショップを開催（技術協力） 2018年1月



JICAの技術協力により開発された新しい教科書がミャンマー全国の小学校に一斉導入（初等教育カリキュラム改訂プロジェクト） 2017年6月



第3回国民結束の日（全国スポーツ大会）に全国12地域から参加した南スーダンの各地域の選手たち（スポーツを通じた平和促進）（技術協力） 2018年1月



海外移住資料館の来館者が50万人を突破 2017年8月 「移住の道のり」を紹介した資料館の展示品



カンボジアの農園を視察する日本企業の調査団（育苗および生産の近代化による高品質花卉の産地育成事業化についての基礎調査）（中小企業海外展開支援） 2018年9月